

海外安全対策情報（平成27年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向

インドネシア国内においては、警察によるテロリストの摘発が引き続き行われているほか、インドネシア人のISIL支援者が増加しているとされており、当局によるISIL支援者への監視や取締りが強化されています。昨年12月末、インドネシア国家警察は、自爆テロを計画していたとされるISIL支持者9名をジャワ島各地で逮捕、さらにスラウェシ島ではISILと関連があると見られる男3人を逮捕しています。

また、12月31日、在インドネシア米国大使館は、新年の祝祭の前後に、スングビーチ等、ロンボク島の観光客が訪れる浜辺で、潜在的な治安上の脅威がある旨、自国民に注意喚起する「緊急メッセージ」を発出し、それを受けて当館からもロンボク島における治安に対する脅威についての注意喚起を発出しました。

テロはどこでも発生する可能性があり、旅行者や大勢の人が集まる場所等はテロの標的となり得るものという認識が必要です。引き続き、テロ関連情報にはご注意下さい。

（2）統一地方首長選挙の実施

12月9日、全国各地で行われた統一地方首長選挙については、混乱は見られず平穩に終わりました。

（3）疾病、感染症等への注意

バリ州保健局は、2015年に州内で罹患者が多かった疾病、感染症として、下痢、狂犬病、HIV/AIDS、デング熱、結核を上げています。特に、昨年1年間に、狂犬病では15名、デング熱では27名が死亡しています。犬に咬まれる件数は依然として減っておらず、狂犬病に対しては引き続き注意が必要です。

（4）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

（5）外国人の不法滞在、不法就労取締り強化

バリ州各地では、外国人による犯罪や不法滞在の事例が増加傾向にあるため、外国人の滞在及び就労に対する取締りが強化されているようです。当地入管、警察、労働

省等の関係当局合同チームが、外国人が就労する関係施設を訪問し、不法滞在や就労許可を持たない外国人の摘発が行われ、その一部に日本人も含まれている模様です。

当地に滞在するに際しては、適切な滞在許可、また、就労する場合には就労許可が得られていることを確認してください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」といった盗難被害が依然発生しています。

特に、深夜時間帯に、レギャン通り（爆弾テロ追悼モニュメント近く）のナイトクラブから徒歩でホテルへ帰る旅行者が、集団の犯人に取り囲まれて話をしている際にスリに遭う被害が継続して発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが発生しています。

その他、早朝時間帯にナイトクラブ店内でのスリ被害の発生も見られます。

(2) 邦人被害事案

邦人の事件・事故について、パスポートを盗まれる等し、当館へ報告された事案は以下のとおりです。

ア レギャン通りでのひったくりやスリ被害

日付	時間	被害種別	犯人	被害者・参考事項
11月23日	午後11時45分ころ	スリ (話し掛け)	集団	女性7名グループ（うち被害3名）、 ナイトクラブ帰り
12月29日	午前3時ころ	スリ	不明	男女5名グループ（うち被害女性1名）、 ナイトクラブ店内

※ 当館で詳細が確認できた被害のみ記載

イ ひったくり被害（上記以外）

12月11日午後8時30分頃、女性旅行者が同行者と2人でクタの歩道を歩行中、歩道に停車していた2人乗りのバイクを避けるように歩いたところ、同バイクが急発進し、歩道上の被害者の左側を追い抜きざまにバッグをひったくり、逃走した。

ウ その他被害

(ア) 車上狙い

11月4日午前7時頃、サヌール地区において朝市からの帰途、自転車を止めて写真撮影に夢中になっている間に、自転車前カゴに入れておいたポーチを盗まれた。

(イ) 傷害

12月7日午前7時頃、オートバイでバイパスをクタからサヌール方面に走行中、海上高速入り口交差点付近で、右側を走ってきた一人乗りのバイクに右太ももを鋭利な刃物で切り付けられた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロに関連した事件は発生していませんが、前記1(1)のとおり、12月31日、在インドネシア米国大使館が、新年の祝祭の前後に、スンギギビーチ等、ロンボク島の観光客が訪れる浜辺で、潜在的な治安上の脅威がある旨、自国民に注意喚起する「緊急メッセージ」を発出しています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上